

【精神疾患入院要否意見書の記載についてのお願い】

1. 裏面の意見書記入要領2に記載されておりますとおり、継続入院の場合であっても、新たに判明した事実がある場合には記載をお願いします。
2. 適切な医療扶助実施上、長期入院患者の実態を常時 把握することが必要です。そのため、継続発行しております「精神疾患入院要否意見書」につきまして、以下の記載例の内容を留意して記載してください。

記載例

精 神 疾 患		
令和 4 年 8 月 1 2 日 佐賀県保健福祉事務所長 公印		
(氏名) [黒塗り] (住所) [黒塗り] (0000) に係る令和 4 年 8 月 12 日の調査の 結果について意見を求めます。		
患者氏名	[黒塗り]	男 出生年月日 昭和 00 年 00 月 00 日
生年月日	[黒塗り]	昭和 00 年 00 月 00 日
病名	病名がなければ「空白」ではなく、「なし」と記載してください。	
入院の経緯	なし	
例文	・身体合併症はなく他科受診はしていない。 ・外泊はないが、単独で週 1 回程、最寄りのコンビニエンスストアに外出している。 ・作業療法には基本的に毎日参加し、ロールモザイク等の創作活動や音楽療法へ参加している。 ・家族は唯一弟と妹がいるが、●●県在住で、H●年入院後は絶縁状態である。 ※上記例文のように箇条書きではなくても構いません。	

過去 6 か月間の「経過」を記載してください。

記載内容としましては「入院中の他科受診」「転院の経過」「入院中の外泊や外出の状況」「作業療法等の経過」「家族や退院支援の状況」等に新たな判明した事実があれば記載をお願いします。
大きな変化がなくても、入院中の何かしらの経過を記載をしてください。